

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
発達作業療法評価学演習	OSP23-001	必修	1	2	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
渡辺 俊太郎	C318	shuntaro.watanabe	金曜日 16:00~17:00			
授業の目的・概要	発達障害領域の対象は精神障害から身体障害と幅広く、発達学的な視点がベースとなっている。よって、評価内容も多岐に渡るため、幅広い評価方法について講義または演習を行う。発達障害領域における観察と検査法を学ぶことにより、対象児を多面的に理解する。					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言	対象児を評価する基準は人間発達学で学んだ正常発達、反射と反応の知識と臨床応用である。人間発達学で学んだ知識を復習して授業に臨んでほしい。					
教科書	標準作業療法学 作業療法学 第3版 作業療法評価学 監修：矢谷令子 / 医学書院 / 2017 イラストでわかる発達障害の作業療法 / 監修：上杉雅之 医歯薬出版株式会社 / 2017 「教科書2冊指定」					
参考書	作業療法学 第3版 ゴールドマスターテキスト 発達障害作業療法学 監修：長崎重信 / 2021					
外部教材	子どものことばを育む心 東京大学 針生悦子 東大TV を授業開始前に視聴すること。					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	子ども及びその保護者とのかかわり方について理解し、説明できる		HSU(1)、(2)、OT(1)、(2)			
②	子どもの特性に応じたアセスメントを抽出し列挙できる		HSU(2)、OT(2)、(3)、RH(3)			
③	発達全般を評価する検査について列挙し、説明できる		HSU(2)、OT(2)、(3)、RH(3)			
④	支援計画を立案する際に用いる質的評価について項目を挙げることができる		HSU(2)、OT(2)、(3)、RH(3)			
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション 発達障害とは何か？発達過程作業療法の役割について学ぶ。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。	1		
2	発達過程作業療法の評価・治療・援助のための基礎知識①	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
3	発達過程作業療法の評価・治療・援助のための基礎知識②	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
4	ASD の特徴を理解し、特有のアセスメントを学ぶ。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
5	ADHD の特徴を理解し、特有のアセスメントを学ぶ。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
6	SLD の特徴を理解し、特有のアセスメントを学ぶ。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
7	感覚統合機能・感覚統合療法について学ぶ①	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
8	感覚統合機能・感覚統合療法について学ぶ②	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
9	知能・認知機能の評価のための基礎知識を学ぶ	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
10	知的障害・ダウン症候群の特徴を理解し、特有のアセスメントを学ぶ。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
11	脳性まひ児の特徴を理解し、特有のアセスメントを学ぶ。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
12	発達領域における運動機能評価を学ぶ①。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
13	発達領域における運動機能評価を学ぶ②。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
14	視知覚・視覚機能について学ぶ。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
15	対象児に応じた支援のアセスメントを学ぶ(まとめ)。	講義、演習	教科書の該当箇所を事前に読む。事後、プリントを復習する。	1		
試	筆記試験					

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		70	0	0	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	10	50	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	10	20	
問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10		
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	定期試験を実施して評価する。発達分野における代表的な疾患の特性把握、評価、解釈、支援について問う(70%)。				答案用紙返却時に解説する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	各疾患や評価表における講義・演習の内容について授業開始時に小テストを実施する。知識・技術力、思考・推論・創造する力、取組みの姿勢・意欲、問題を発見する力を問う(30%)。				各授業にて解説する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	作業療法士として 15 年以上の臨床経験							
実践的授業の内容	臨床における最新情報と共に、その専門性を生かして学生に教授する。身体機能・認知機能を発達過程の視点で捉えて、講義・演習を実施していく。							
そ の 他	大学構内での授業に際して、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方針を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更の可能性がある。							